

ぶらり

奥州散歩道

Vol. 37

源義経公供養塔

(江刺区重染寺)



①中尊寺にある仁安4(1169)年の年号が刻まれた日本最古級の五輪塔を参考にした供養塔。荻田会長(右)と重染寺親和会の菊池典郎会長②③供養塔の周囲は元々隠れた桜の名所になっていた(昨年撮影)。4月下旬には、しだれ桜や判官桜(相原正明市長命名)の競演が見られる



「真実の心が胸を打つ。地元に残る伝説をもっと早く調査、顕彰し、文化としてきちんと残していかなければならない」と話すのは、江刺観光物産協会の荻田耕造会長です。同協会は平成17年4月、源義経と鈴木三郎重家、重染父子の供養塔を建立しました。

重染寺という地名は、岩谷堂市街地東側の丘陵地帯にあります。明治14年発行の江刺郡誌は、この丘陵地帯に古くは慈覚大師が開いたという寺があり、その跡地に重染が重染寺を建立し、衣川で無念の死を遂げた義経と父・重家を追悼したという伝説を記しています。安永2(1773)年に仙台藩がまとめた安永風土記にも、同様の記録が見えます。現在、寺院を示すような跡は見つかっていませんが、ほぼこの周辺にあったことは間違いないと考えられています。



供養塔には、義経と最後まで従った重家、そして父の敵討ちをしようと紀伊国から奥州入りの重染を供養する五輪塔が、3つ仲良く並んでいます。例年、義経の命日とされる4月30日(諸説あり)が近づくと、敷地内にあるしだれ桜が濃いピンクの花を咲かせます。30年ほど前に住民が植えたのですが、今では義経主従を慰めるかのように、周囲を花で埋め尽くします。供養塔の建立をきっかけに、付近の21軒でつくる重染寺親和会では環境整備などに取り組んでいます。埋もれた歴史を掘り起こすことが、地域の新しい宝物になったといえるでしょう。

◇問い合わせ◇ 江刺観光物産協会(江刺観光物産センター内) ☎0161111111

※見学は自由ですが、現地の道路、駐車場は狭いので、通行には十分注意してください。



新築・リフォーム住宅に関するご相談はお気軽に。

家族を守る、激震に耐える強い家

震度7に耐える丈夫な家が、あなたの家族と財産を守ります。

丈夫で長持ち

信頼の施工・品質

パナソニック耐震住宅工法
テクノストラクチャー
全棟構造計算書付!

木造住宅の常識を超える「新工法」。

木の温もりと鉄骨の強さを併せ持つオリジナル複合梁と接合金具を使用し、邸別に構造計算を行うことで、いつまでも安全で安心できる家を提供いたします。

高惣建設株式会社

〒023-0829 奥州市水沢区花園町一丁目1番7号
TEL:0197-22-3111 FAX:0197-22-3120

お問合せ
ご相談は

☎0120-516-812
<http://www.takasou.net/>